

梵 声
ど根性がなさすぎる

どちらを見ても、ど根性がなさすぎる。口を開くときの中の責任だという。マスコミはこれを扇動しているが主体性の空洞化に拍車をかける。もうマスコミには、主体性がなくなりつつあるようだ。大衆の意を迎えるのに精いっぱい、指導性などみじんもない。

ど根性は一朝一夕に養われるものではない。一日一日の精進の積みかさねにある。生きるか死ぬかの現実の日常生活が「聖胎良養」の場で、これが死ぬまでつづく。

一瞬、一瞬が死んでホッと復活する。ここに無限のバイタリティが内なるものからたぎってくる。ど根性であり、ど性骨だ。この一閃を通らないで、どうして「仏の遊履し給うところ化を蒙らざるはなし」の遊戯三昧に入れるのか、観念の空転も甚だしい。

映画俳優の中で、演技のスケールの大ききからいうと、三船敏郎にとどめがきされるようだがローマは一日にして成るものではない。谷口監督が克蘭クインをしようにとしたところ、三船にかねてわたしておいた台本をもっていない。

俳優にとっては教科書で、みんな大切にもっている。真性情行な谷口は、カッと成って「台本をどうしたのか」「あ家に本をどうしたのか」「そんな不真面目おいてました」。「そんな不真面目な心がけで、まともな仕事ができると思うか」――

しばらく重く重いまりののりのような沈黙が続く、やがて谷口が折れて、撮影がはじまった。ところが三船は台本のことはばばもとよりそのアクセント間(ま)などこのこまかい指示までも暗記していたのに谷口監督は舌をまいたという。

いかに彼が本書へ出る前にいく昼夜にわたり長文の台本に、いのちをかけてとり組んでいたかが想像されよう。「百獣の王のライオンは、小動物を見つけたときでも一瞬、全力をあげるといふ。ど根性がないと、大事はおろか小事すら成就しない。ちよつと風の吹きまわしが悪いと、自分の意慢をタナにあげて相手に全責任をおしつける。はては世の中の仕組が悪いと、ブツブツいうメタンガスのようなクオ・ヴァレ男もいる。天はみずから助けるものを助けるのだ。コタツ弁賣で何が出来るといふのか。

尋知に着手の学者がいるが中

雪にまけず！

講日にも参考書におろか、ノ一冊もつていかない。講義の下書など書いたことがないという。教室に入るなり、丸腰で講義をはじめるそうである。

他の大学院から一週間の集中講義に招かれて出張した。このときも手廻り品のほかは、何ひとつもつて行かなかったとか。

集中講義だから、一日に六時間のべつ幕なんにしゃべりまく

る。これを六日間もつづけたのは、学生側が啞然としたという。ノート一冊ももたないでどうしてあれだけ整然と、自分の学説を述べることができののかとの質問が出た。一わたしは記憶する必要があるもので、忘れることもないです」と、笑いながら答えたという。

卒業後、学問研究一本に打ち込み、三十年にわたり、一つ一

「精密に理論を組み立て、新学説を大成したからだろう。他人の学説の受け売りならノ一も必要だが自分が粒々辛苦打ち立てた学説だけに、四十時間でも五十時間でも丸腰して講義が出来る。

これが主体性であり、ど性骨なのだ。『それは天分による』と、他に逃避することなく、ど根性を入れて精進しよう。

傷つきし木馬は山の林考え

雪にまけず！

去る三月二日清田山地区で雪上運動会が開かれた。当日は部落総出のうえに下山、田代からの参加者もあったとか。又、冬期分校や本校の先生が参加してくれたり、出稼ぎの人がこの日のために帰ってきてくれたりで総勢百名以上。十三年目を迎えたこの大会、もうすっかり部落民の冬の生活に根をおろした次いで三月十六日には千溝で第二回目の雪上運動会があり、百

名以上にのぼる参加者は、奇抜なゲームを楽しんでた。屋外での娯楽の少い雪国で、積極的に雪を利用しての娯楽の機会をもととするのは貴重なところであり、今後他部落への普及が期待されることである。同日、体協と公民館共催のスキー大会が津南スキー場で開かれ、約五十人の参加者が講習会やゲームを楽しんだ。

（千溝の雪上運動会の一コマ）

中里文芸

四月投稿

泥児
戸隠しに赤く落ちけり晩の月
山鳩や追いかけてくる春の雲
梅林を抜けて来て言葉やわらかし

大泉
おのえ

深雪
蒼解川山野目覚めのあらあらし
栄山
団子まき子等に交り喜寿米寿
海人
風切れて小さき胸を痛めけり
時習
春の雪ちらり竹にも桜にも
玉泉
自治戦の声も交じりて春風
独山
雪解露物千台のかたむきて
玄斎
炭屋から三歩黒し春の雪
追風
ぼたん雪底明りして納屋の奥
鳴石
放水の警報又鳴る雪解かな
梢陽
猫柳さされし夜を寝沈みし
涼子
真に遇へりおのきほどの寒ど
うふ
とし子
荒れ空や雪嶺こよるる気笛かな

中小企業設備
設備貸与
申込受付中

お願ひ

◎春は人事異動の季節です。住所が変つたら必ず転居届を提出して下さい。あなたの手紙が迷子になっています。

用紙は郵便局の窓口にごいませう。

◎例年各地で鯉のぼりを立てるため、電線に触れ、感電して、

人生往来

帰する制度です。中小企業特に
 小規模企業に適した制度と考え
 られます。
 (一)資格
 従業員二十人以下、必要に応じ
 て五十人以内、小売、卸売、サ
 ビーサービス業は五人から十人。
 過去二年事業年度の平均利益が五
 百万円以下。必要に応じて八百
 万円以内。
 (二)貸と設備価格の限度
 二十万円で上八百万円以内
 (三)貸と期間
 四月一日～五月三十日(第一回)
 七月一日～九月三十日(第二回)
 詳細は役場産業課へ

藤田	江口	桑原	樋口	滝沢	鈴木秀太郎	徳井	阿部	広田	鈴木知重	氏名	◎算天	山田	渡辺	服部	小巻	山田	吉楽	◎塵声
ナミ	トミ	貢	啓治	豊茂	(六)	善七	忠松	ヒロ	(四)	年令	天	武彦	賢輔	臣裕	浪成子	忍正司	大吾	父の名
(三)	(七)	(八)	(五)	(七)	(六)	(七)	(三)	(五)	(四)			仁介	利弘	龍男	芳一	正司	英一	
宮中	千満	東田屋	朴木泥	角間	重地	堀之内	新屋敷	小原	重地	部落		宮中	山崎	田沢	荒屋	干溝	上山	部落

新年度予算きまる

一般會計予算
特別會計予算

先月十一日から開催された第一回定例議会で、昭和50年度一般会計予算及び特別会計予算が審議可決された。

それによると一般会計歳出予算総額は八億八千万円で、前年度に比べ一九・五％の伸びを示している。この内容を項目別にみると、融雪による農地などの災害

昭和50年度予算編成に
関する施政方針の税明

中里村長 高橋 幸作

昭和五十年年度
の予算案を上掲
するにあたり所
心の一端を披
し、みな様の御
理解と御協力を
御願ひいたしま
す。

インフレ傾向
の下における地
方財政は諸物価
人件費等の伸び
率が著しく歳出
全般の増高はま
ぬがれ得ず財政
需要と財源との
バランス調整は
予想以上にきび
しいものがあります。

昭和五十年年度の予算編成にあ
たっては国 県においても物価
安定と福祉充実に重点をおき、
公共事業をはじめとする総需要
の抑制策は更に続けられようと
しておりますが、一部企業の倒
産やゆきづまり等が伝えられて
いる中で政府は本年中でも景気
調整の手直し等をほのめかすな
どその流動性は図り難いものが
あります。今後の財政運営は従
来にも増して極めて困難といわ
なければなりません。

そのため事業実施にあたって
は特定財源の確保が急務であり
国、県関係機関との緊密なる連
携のもとに、財源の確保に努め
る考えであります。現在、国
県予算の配分も確定の段階に
至らず、従いまして当初予算計
上を見合せて事業もありますの
で、年度中においても財源の確
保が得られる事業についてはそ
の都度予算の補正を行い、可能
な限り投資的事業を推進する考
えであり、そのため一般財源に
ついては弾力性に留意し、健全
財政堅持の方針で編成いたしま
す。昭和五十年年度一般会計の
予算規模は八億八千万円で、前年
度当初予算に對する増加率は十
九・五％となっております。

予算原案の特色は全体として
農村整備建設に重点をおき、道
路交通網の整備充実、産業基盤

の整備、教育施設、生活環境の整備改善等住民の要望を卒直に受けとめ、財源の重点的配分に努めるとともに住民負担の軽減を図る考えであります。

歳入の關係では、固定資産税の標準税率への移行による減税額約二百万円、住民税においては給与所得控除等の引上げの影響もあつて増収は期待できず、たばこ消費税、電気税等の自然増収分を相殺して九・四%の増収に止まり、繰り算額に対する比率は八%となつております。

地方交付税については、国税三税の歳入見込み額の三%を適用して四兆四千八十六億円が国の予算原案に計上されておりますが、この額は前年度当初に比べ三〇・三%増であつて前年度の増加率一七・四%に比し大巾に上廻るものであり、五十年代地方財政計画上の収支バランスは一応とられたものと自治省財政当局では見ており、これに準拠して村の財政需要額及び税金収入等を考慮した結果前年度に比し三〇・八%増を見込み計上いたしました。

国庫補助負担金については、地方公共団体の超過負担の解消について公立文教施設整備事業等三項目の事業費及び保育所措置費等の運営費について実態調査がなされ、四十九年度補正予算において超過負担解消のため基準単価の改善措置がなされ

れておりますが、今後においても物価の上昇に見合う基準単価の見直しを行い、新たな超過負担が生じないよう措置をなすべきことを認めておりますので更にその推移を見守りながら全面解消についての要望を続けて参る所存であります。

付債については、将来の財政運営に及ぼす影響を充分考慮して慎重に配慮すべきものであります。大規模な建設事業、災害復旧事業等臨時に多額の費用を要する事業について、償還年限利率等最も有利な条件により起債を見込計上いたしました。が、事業の性質から後年度の住民からもその負担を分担したくことについて御理解願いたくであります。

歳出については、昨年の人事院勧告に基づく給与改正に關係する各種人件費等の増減並びに需要費、維持補修費等について、もそれぞれ増額を余儀なくしており、財政の硬直化は一層深刻化しつつありますので当面の物価、賃金情勢等にかんがみ諸物資、資材の極力節減に努める考えであり、人件費については事務の再配分及び簡素化等の改善案を検討すると共に新規事業並びに諸施設に必要な職員配置について特に慎重を期するほか、住民に及ぼす影響等充分考慮の上適切なる運営に努める考えであります。

4月1日現在	
人 口	7,286 (－48)
男	3,588 (－13)
女	3,698 (－35)
世帯数	1,673 (－ 2)

項 目	予 (單位 千円)	構成比(%) (前年度比率)
議會費	一、〇〇〇円	二・四
總務費	三〇、〇〇〇円	二・八
民生費	二、〇〇〇円	一・四
衛生費	四、〇〇〇円	一・三
農林水産業費	六、〇〇〇円	一・七
商工費	六、〇〇〇円	三・三
土木費	三、〇〇〇円	一・二
消防費	三、〇〇〇円	一・六
教育費	三、〇〇〇円	二・九
災害復旧費	四、〇〇〇円	三・九
公債費	四、〇〇〇円	二・一
予備費	一、〇〇〇円	三・一
合計	四、〇〇〇円	一〇〇・〇

更に法令外負担金補助金が上げられ年々増高の傾向にあります。第二期地域指定を實現し、山村地域の整備開発を推進する考えであります。

そのほか農業生産施設等に対する利子補給、特産振興、畑作振興、深耕機購入等に対する助成を行い更に堆肥作りを奨励し、地方の快復に努め、農業生産の向上を図る考えであります。

又、畜産振興については津津峡地域に牧野の新設整備調査費を計上して調査を行う事としており、家畜の当年度の育成、骨格造り及び防疫、診療等の事業を併せて実施いたします。

水産業振興事業においては養漁センター事業の実施により養漁、放流等を実施し、水産業の振興を図る考えであります。

又、山林資源開発のため林道小出組戸線、田代線の二線の新規計上するとともに小沢東山線を継続実施する方針であり、そのほか公有林植林事業、有害鳥獣駆除等併せて実施するための林業振興費を計上いたしました。

苗場山麓開発事業については第一地区事業の推進について更に努力する事はもとより、国有林活用者に対する地上物件補償の利子補給について昭和四十九年度、五十年分については全額補償を考慮しており、その後の運営についても更に努力する考えであります。

第三地区については更に調査を続けて参る所存であり、又水資源確保のための調査等併せて実施し、将来悔のない開発に取り組んで参る所存であります。

教育関係について

社会の急激な変化と多様化に対応し教育の水準、教育の質的向上を図る事は内外を問わず重要な課題であります。

わが村においては町村合併以来小、中学校の統合について研究討議がなされて参りましたが諸般の事情からその実現を見るに至らず、社会情勢の推移と共にその方向は更に決し難いものとなっておりますが、教育の重要性にかんがみ義務教育施設の整備を充実し、教育の機会の平等と効果の昂揚について更に住民との意志の疎通を図り努力を傾けて参る考えであります。

又、社会教育については、登山村において生活水準の向上、都市化、余暇時間の増加等によって個性の喪失、人間疎外、地域連帯意識の減退をもたらし、これに対応する社会教育と社会体育の振興は不可欠のものと見え、真の人間関係回復と心身の健全な発達、明るい豊かな国民生活形成のために努力を続けて参りたいと思っております。

尚、教育文化施設として見逃せないテレビの難視聴地域の対策について関係機関に対する強力な運動の結果、県内十二ヶ所のうち一ヶ所ない十二ヶ所の施設設置の見通しであり、地域住民の要望にお応えできるものと思っております。

民生関係について

人口の過疎化と老齢化の進行に伴い、老人対策をはじめとする住民の日常生活に身近な社会福祉対策が早急に求められております。

老人、母子、身障者、精神薄弱者、生活保護家庭等の援護措置の強化について関係機関に強く働きかけるとともに住民等しく安定した生活向上のために努力する方針であり、へき地保育所、季節保育所等施設の充実と要措置児童の重点保育等により事業効果の増大を図る考えであります。

又、本年県が新規事業として設置を計画している豪雪地域の保安要員についてわが山里村は県の指定する条件には地理的に該当しないとの事でありますが、地域の実情を強く訴え続けておりますので一ヶ所の地域については指定をうけられるものと思っております。

保健衛生関係について

最近特に成人病と呼ばれる疾患が壮年層以降に増加しており、社会的にも家庭的にも重要な柱となっている人が多くおかれまております。

一方、最近のめざましい医学の進歩はこの成人病の早期発見、早期治療に大きく役立っておりますが、成人病等は食生活が最大のポイントであるので栄養士を特に村内に

栄養教育を重点的にを行い、自主的健康管理によって定期健康診断等によりあらゆる病気の早期発見、早期治療及び予防に努める考えであります。

環境衛生についてはごみ処理、汚物清掃等津南地域清掃センター組合事業により施設の拡充強化を図る事としており、その経費負担額は一千五百四十万円に昇るほか、消毒器具設置、薬剤費の補助等をなし、住みよい環境の整備を進めてゆく方針であります。

商工業の振興及び観光開発については昨年度実施した観光コンサルタントの調査結果を基として更に検討を加え、国道三三三号線の改良工事の進捗状況に併せて地域住民の意向を十分取り入れた上でその開発に取り組みを行きたいと考えております。

又、商業振興対策では最近の社会情勢が一層厳しさが伺われますが、時代に即応し対処できる企業の育成、指導を中心に組織の援助を行う考えであります。

地籍調査事業については昭和五十六年度完了を目途に、本年は小出部落について調査し、事業の推進を図るよう手配いたしました。

消防防災について

最近可燃性建築資材の出廻りと安易な暖房設備使用、たばこの吸殻等による火災も断たず

これ等による損害は被災者の物心両面に亘ると共に関係者にとって多大な損失となっておりますので、これを未然に防止します。これを未然に防止する事こそ急務であり防火対策物の防火管理の徹底、危険物保安規則等予防行政の強化の必要が

あります。十日町地域広域組合消防も発足二年目を迎へ本署庁舎も完成いたしましたので本年は中里村に消防自動車庫を新設するほか、防火水槽、消化栓等の設置、可搬ポンプの更新等をなし、消防力の強化に努める事と致しております。

消防団も又、郷土を災害から守る唯一の互助組織としての重要な使命を認識したうえ一層の御協力をお願いする次第であります。

防災関係では人命の安全確保を優先する立場から、防災に関する住民意識の高揚につとめ安全な生活環境づくりを推進することを基本として災害に対処し、県と市町村を結ぶ防災行政無線を設置して通信体制の確保をはかることといたしました。

交通安全対策について

最近の道路交通条件の好転と車輛の増加に伴い、関係機関の交通規制や取締りの強化等にもかかわらず交通事故は跡を断たず特に昨秋より本年始めにかけて村内に重大な事故が発生しております。

関係者は勿論一般住民に対し数度に渡り広報、チラシ等により注意を喚起して

ところでありますが、更に学校のPTA、保育所入所児童保護者等あらゆる機会を通じて、交通安全に対する住民意識の高揚に努めると共に交通環境の整備を図り、歩行者特に老人、子供等弱者保護に努める方針であります。

特別会計について

基本的には一般会計と同様義務経費の増加に伴いその運用には一層の厳しさがありますが、特別会計の性質上、企業意識の高揚と経営の合理化並びに財源の確保と住民福祉の向上に努める方針のもとに予算の編成を行います。

国民健康保険事業について

事業勘定予算総額二億一千三百九十四万、施設勘定一千六百三十万円で前年に比し事業勘定四三・七％、施設勘定二・四％の増額であります。

歳入では保険税四一・〇％、国庫支出金四五・五％、繰入金七・五％の増額を見込み財源に充てる事と致しましたが、歳出において高療養費制度の平年度化、老人医療の無料化等による支出増加は著しく、今後の保健行政の運営については十分なる配慮と強力な国の財政援助が要望されるのであります。

昨年十一月より診療を開始した歯科診療所については予想通りの成果で順調に推移し児童、生徒を重点的に虫歯の治療を行

就任のあいさつ

高道山小学校校長 南雲 源二

良寛誕生の地出雲崎から高道山小学校へ参りました。

南魚沼郡の山の中で育ちましたので、山にも雪の深さにも驚えませんが、すばらしい自然に感謝しております。

当高道山小学校は本年百才になります。一口に百年と言うのは易いけれども、その間幾千万人の次々として営んできた教育への足跡を顧みるとき、これを継

人事異動発令

役場では四月一日付で人事異動が行われた。今回は村山産業課長、桑原社会課長の定年退職、企画課と産業課との統合、新規職員採用等が背景となっており、課長級では産業課長に前企画課の小柳課長が、社会課長に得には前建設課の井之川補佐がそれぞれ発令された。

- ◎産業課
主事 桑原 勇(企画課)
主事補 古高 稔(企画課)
主事補 井ノ川重幸(企画課)
主事補 樋口 勝人(税務課)
- ◎建設課
主事 高橋 止文(開発室)
主事 樋口 止博(新採用)
主事補 村山 博(新採用)
- ◎社会課
主事補 川田 優(新採用)
- ◎保健課
主事補 小柳 勲(新採用)
- ◎税務課
主事 久保田明子(産業課)
- ◎建設課
主事 羽鳥ヨシ子(建設課)
- ◎会議事務局
主事 樋口 秀一(総務課)
- ◎総務課
主事 小柳 勲(新採用)

山本三子(新採用)

△田沢中

浅野 泰典(西山町内郷中)

吉栗 巖(十日町中)

丸山 繁夫(津南中)

佐藤 敏郎(新採用)

△倉保中

伊藤 栄一(南魚大和中)

田村 昭午(南魚塩沢中)

馬場 京子(新採用)

写真は右より

田沢小学校校長

田沢中学校校長

清津峡小学校校長

倉保中学校校長

金子 敬(十日町飛渡二中)

和泉沢総一(加茂若宮中)

佐藤 俊男(北魚堀之内中)

大矢義佐子(西山町・田小)

◎転入

△田沢小

西条 昌治(見附葛巻小)

岡元甲司郎(北魚川口小)

藤井 藤夫(塩沢第一・田小)

齊藤 莊(貝野小)

関谷 喜代(十日町川治小)

△倉保小

高橋 恒彦(柏崎南郷小)

島倉 敏男(新潟山形小)

東 文雄(新採用)

△貝野小

尾身 辰雄(十日町小)

△清津峡小

藤木 秀勝(川西白倉中)

以上で全合計についてひと通

の説明を終ります。

努力する事をお願い申し上げます。

昭和五十年年度予算編成方針

化をめざし事業の推進を図る考

えであり、七百万円の手算を計

上いたしました。

他地域への移住と将来村の特産

をうけるながら、食用鮭を中心

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

に配慮してゆく考えであります。

養殖を行ない地域内に供給する他

では四月一日付で人事異
作業員 南雲 文平 (新採用)
われた。今回は村山産業 (新採用)

課
果

井ノ川重幸 (企画課)
樋口 勝人 (税務課)

